

自然災害の被害に遭われた時は、区役所にご連絡ください

地震等の大規模災害の災害被災者に対しては、以下の制度があります。

- 「災害弔慰金」「災害障害見舞金」の支給
- 「災害援護資金」「生活福祉資金」の貸付
- 「市税や保険料の減免・徴収猶予」
- 「被災証明書」の発行



大規模災害時だけでなく、集中豪雨や台風による浸水被害に対しても以下の制度があります。

被災証明書の発行

自然災害時、保険会社への請求などのために「被災証明書」が必要な場合は区役所にご連絡ください。職員がお伺いし、判定したうえで発行します。

小災害見舞金の給付

居住部分に被害があった方に対して、「小災害見舞金」を給付できる場合があります。区役所職員が被害の事実を確認したうえで申請をしていただくことになります。詳細については区役所までお問い合わせください。

※ご不明な点は城東区役所1階 市民協働課へお問い合わせください。

災害時のデマに注意してください。

「〇〇県で個人からの支援物資を集めています」
東日本大震災の時もこのようなデマと言えるチェーンメールがいくつも送信されました。冷静に考えればどこかおかしい文章でも、「被災地のため」と書かれていると信じてしまいます。落ち着いて、一言一言全文を読みましよう。

自衛隊や都道府県で物資を集めるのに電子メールを使うことはまずありません。各役所から発行される印刷物や公式のホームページ、テレビの報道等で呼びかけます。

また、
「電力が底をつきそうなので節電をお願いします。皆さんに協力していただく為、このメールの拡散をお願いします」というものもありました。

確かに内容は正しいかもしれませんが回線を混雑させ、本当に必要なメールの送受信を妨げてしまいます。

メールくらいと思いがちですが、被災直後、被災地周辺では数日間にならって携帯電話がつかない事態に陥っていました。これは、携帯電話の電波を中継する基地局が津波で流されてしまったことに加え、緊急用に電話回線の使用制限がかかったからです。

平常時、災害時に関わらず、不特定多数に広めるメールを送信する際には一旦落ち着いて本当に必要な連絡かどうか考えてください。チェーンメールを回さないように心がけましよう。

城東区の取り組み

災害に強い輝く城東区をめざして～城東区防災計画～

2013年4月発表

<http://www.city.osaka.lg.jp/joto/page/0000213893.html>

- 第1章 災害の想定
 - 第1節 地震の想定
 - 第2節 風水害の想定
- 第2章 区民の皆様へ（自助・共助）
 - 第1節 自助「自分と家族を守るために」地震編
 - 第2節 自助「自分と家族を守るために」風水害編
 - 第3節 共助「地域で助け合うために」
- 第3章 災害対策（公助）
 - 第1節 市役所・区役所の施策
 - 第2節 その他の行政施策
- 第4章 参考
 - 第1節 多言語表記の例
 - 第2節 関係先など



もし災害が起きたらどこへ避難し、どうしたらいいのか、市や区はどんな体制で対策・支援をしているのかわかりたかったことがとても分かり易くまとめてあります。第4章では、関係先電話番号、各種ホームページなど普段から役に立つサイトも紹介されています。

区内にお住まいの方みんなに読んでもらいたい内容です。



保存版 城東区防災マップ

城東区役所市民協働課で配布している防災地図です。避難所が記載されています。裏面には非常持ち出し品の一例や災害伝言ダイヤルの使い方があります。

子育て応援しちゃいます！ わくわく城東

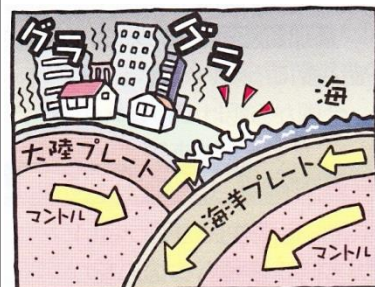
特集号
H26年3月発行

発行・城東区役所 子育て支援室 06-6930-9857
編集・育児サークルシングルズ team_singlez@yahoo.co.jp
協力・城東区子育て支援連絡会

大規模災害対策 城東区内の被害想定は？

現在予想されている関西で起こりえる地震災害は海溝（プレート境界）型の地震と内陸活断層による地震です。

海溝(プレート境界)型の地震



海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込み続けているために、ひずみが限界に達すると大陸プレートが跳ね上がって地震が起こります。

東海地震、東南海地震
南海地震 等



東海地震、東南海地震、南海地震は連動して発生する可能性が非常に高く、広範囲に被害が及びます。津波が発生しやすいのも特徴です。



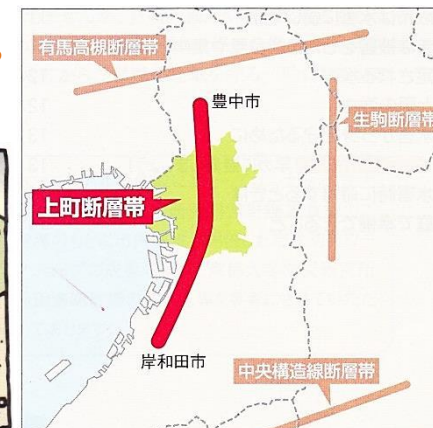
詳しくは区役所で配布している『市民防災マニュアル』をぜひご覧ください。



内陸活断層による地震

陸地の地下（ユーラシアプレートの内部）で活断層がずれて地震が起こります。

上町断層帯地震 等
陸域で発生するタイプの地震で震源が浅いため、断層近くでは揺れが激しくなります。



※大阪市発行「市民防災マニュアル」より抜粋しています。

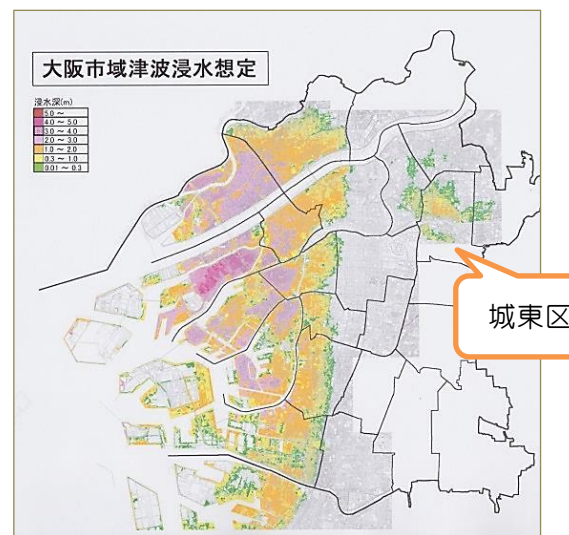
平成25年に開かれた「大阪府防災会議 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」にて、津波浸水による被害想定地域に城東区が新たに含まれました。

城東区は河川堤防の沈下等により浸水する地域と考えられています。保険加入の際は、保険会社の提示する津波被害の認定条件をよくご確認ください。

詳しい被害想定情報は、[大阪市危機管理室](#)ホームページより

想定される被害

- 大阪府域における南海トラフ巨大地震の被害想定（ライフライン等施設被害・経済被害等）の公表について
<http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000251674.html>
- 大阪府域における南海トラフ巨大地震の被害想定（人的被害・建物被害）の公表について
<http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000241052.html>
- 大阪府下における南海トラフ巨大地震の被害想定公表について
<http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000231112.html>



まずは命を守る行動をしましょう。

大切な人もきっと避難していると信じ、自分の命を守りましよう。そのためにも各自どんな行動をとるべきか想像力を働かせ、話し合っておきましょう。東日本大震災の際、津波が到達した時間に、生徒が帰宅していたにもかかわらずほぼ全員が助かった小学校では、毎月の避難訓練で毎回違う場所、違う状況で訓練を開始し、各自がどう避難すればいいか判断する力を養っていたそうです。